△ザイザル錠　［内］

【重要度】★★【透析患者に投与禁忌】　【一般製剤名】レボセチリジン塩酸塩　Levocetirizine Hydrochrolide　【分類】抗ヒスタミン剤

【単位】△5mg/錠

【常用量】■成人：5mg/日［最大 10mg］

■小児（7 歳～14 歳）：1 回 2.5mg1 日 2 回

【用法】■成人：1 日 1 回寝る前■小児：1 日 2 回朝食後と寝る前

【透析患者への投与方法】Ccr 10mL/min 未満では禁忌（1）

【その他の報告】腎不全患者への過量投与時の QT 延長症例あり（Prescrire Int 19: 26-8, 2010 PMID: 20455340）

【保存期 CKD 患者への投与方法】Ccr 50～79mL/min：2.5mg1 日 1 回，Ccr 30～49mL/min：2.5mg を 2 日に 1 回，Ccr 10～29mL/min：2.5mg を週に 2 回［3～4 日に 1 回），Ccr 10mL/min 未満では禁忌（1）

【その他の報告】Ccr 50～80mL/min：2.5mg/日，Ccr 30～49mL/min：2.5mg を隔日，Ccr 10～29mL/min：2.5mg を週 2 回，Ccr 10mL/min 未満：避ける（FDA）

【特徴】セチリジン［ジルテック錠］の R-エナンチオマー．ヒスタミン H1 受容体への親和性はセチリジンの 2 倍高い．アレルギー性鼻炎および皮膚疾患によるそう痒症に用いられる．

【主な副作用・毒性】眠気，倦怠感，口渇，嘔気，食欲不振，好酸球増多，ふらつき，動悸，頻脈，発疹，幻覚，睡眠障害，腹部膨満感，視覚障害，排尿困難など

【安全性に関する情報】鎮静を避けるケースには選択しない［鎮静性がある］（Ferrer M: Expert Opin Drug Metab Toxicol 7: 1035-47, 2011 PMID: 21639816）QT 延長に関与しない（Hulhoven R, et al: Eur J Clin Pharmacol 2007 PMID: 17891537）

【F】AUC に食事の影響を受けない（1）おそらく 90%程度は吸収される（5）

【tmax】0.75～1hr（1）

【代謝】ほとんど代謝されず，代謝の寄与は 3.5%（1）酸化，グルクロン酸抱合，タウリン抱合，グルタチオン抱合を受けて代謝される（1）

【排泄】尿中未変化体排泄率 77%［48hr まで］（1）尿中回収率 85%［168hr まで］（1）

【CL/F】2.4L/hr（1）

【t1/2】7～10hr（1）【HD 患者の t1/2】41±15hr（1）

【蛋白結合率】92%［ジアゼパムサイト］（1）

【Vd】Vd/F=25.14L/man（1）0.41L/kg（Baltes E, et al: Fundam Clin Pharmacol 15: 269-77, 2001）Vd/F 0.3L/kg（Benedetti MS, et al: Eur J Clin Pharmacol 2001 PMID: 11758635）

【MW】461.81

【透析性】除去されない（1）HD クリアランス 22mL/min で除去率 8.5%（1）

【O/W 係数】LogP=1.32［1-オクタノール/水系，pH7.4］（1）

【主な臨床報告】抗ヒスタミン作用についてレボセチリジンはセチリジンの 2 倍強い（Devalia JL, et al: Allergy 2001 PMID: 11167352）

【更新日】20221222

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。